



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



専門領域の壁を越え、幅広いキャリア形成を支援する

大学院教育支援機構 教育コース



多様化する社会ニーズに応える人材を育成

産学協同教育コース

教育能力向上コース

グローバル生存学コース

デザイン学コース

数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース

サステナビリティ総合知コース

ウェルビーイング総合知コース

フロンティア開発総合知コース

2025年4月 開講



大学院教育支援機構教育コース

大学院共通科目群・大学院横断教育科目群のうちから
各コースで指定された科目を履修、ワークショップ等に参加

必要な科目の単位修得、ワークショップ等の日程終了

コースの修了認定、総長名のコース修了認定書を授与

大学院共通・横断教育について

社会の高度化や多様化、グローバル化の進展等に伴って高まる人材養成のニーズに応え、大学院生が専門領域を超えて様々な分野で活躍するための知識や技能を提供するため、大学院教育支援機構では、大学院共通科目群及び大学院横断教育科目群を開講しています。

大学院共通科目群

すべての大学院生の共通基盤科目

- ・社会適合分野
- ・情報テクノサイエンス分野
- ・コミュニケーション分野

大学院横断教育科目群

研究科等を横断する学際領域において、
他研究科等の大学院生にも公開し履修を推奨する科目

- ・人文社会科学系
- ・自然科学系
- ・統計・情報・データ科学系
- ・健康・医療系
- ・キャリア形成系
- ・複合領域系



各コースの**詳細**はQRコードから
「**大学院共通・横断教育について**」をご確認ください。
<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>



各コースの**登録**はQRコードから
「**京都大学の全学生共通ポータル**」をご確認ください。
<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

なお、コース登録とは別に各科目の履修登録をしなければ受講できません。前期集中・通年集中科目は4/2から始まる時間割作成期間に履修登録を、予備登録が必要な科目は4/1から始まる予備登録への申込みを、必ず行ってください。

産学協同教育コース

自らが専門領域で創造した研究成果を大学や研究機関だけでなく広く社会に展開するために必要な、起業マインド、知財、資金調達、法務を学ぶとともに、ベンチャー企業創業者・大手企業役員との討議により企業戦略や外部連携の実例にも触れることを目的とします。また、実際に起業を体験する実践ワークショップや、研究インターンシップへの挑戦も歓迎します。

対象学生 修士課程及び博士課程の大学院生・1期20-30名程度(定員超過する場合は抽選を行う場合がある)

I 産学協同教育コース(ベーシック)

以下の必修科目および自由選択科目よりあわせて7単位を修得すること

科目名	単位数	開講期	備考
知的財産	1	前期集中	必修
アントレプレナーシップ入門	0.5	前期集中	必修
ベンチャーファイナンス入門	0.5	後期集中	必修
アントレプレナーシップ演習	2	後期集中	選択
企業法務概論	2	前期	選択
企業の社会的責任 — ESGの取組について —	1	前期集中	選択
キャリア・アントレプレナーシップ論	1	前期集中	選択
研究開発型企業経営論	1	後期集中	選択

原則として I ベーシックを修了した者を対象とします。

II ① 京都大学技術イノベーション事業化 ～実践ワークショップ～プログラム

II ② C-ENGINE 中長期 研究インターンシッププログラム

修了の認定・資格

在学期間中に、I. ベーシックにおいて必要な7単位を修得し、かつII. ①実践ワークショップ又II. ②インターンシップに参加した者には、総長名の修了認定書を授与します。ただし、I. ベーシック、II. ①実践ワークショップ又はII. ②インターンシップのそれぞれの区分でも個別に総長名の修了認定書を授与することができます。

※ II. ①及びII. ②は原則としてI. ベーシックを修了した者を対象とする。履修方法等詳細は大学院教育支援機構まで問い合わせること。

教育能力向上コース

大学教員を目指す大学院生の教育力向上に対して社会からの要請が高まるなか、自らが専門とする研究内容を初学者や異分野を専門とする学生にも分かりやすく伝える能力を身に付けるための講義・演習、実践授業や模擬授業に取り組みます。また、学生の健康や安全、人権、障害等への意識を高める講義を受講して、理解を深めます。

対象学生 修士課程及び博士課程の大学院生・1期20-30名程度(定員超過する場合は抽選を行う場合がある)

以下の必修科目を修得すること。

科目名	単位数	開講期	備考
大学教員になる人のための学生支援論	1	前期集中	必修
教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業	1	通年集中	必修

※本コースを履修する大学院生は、令和6年度に新設されたTASにも是非チャレンジしてみてください。

※TAS=Teaching Associateは、京都大学大学院の博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年に相当する課程又は標準修業年限が4年の博士課程の特に優秀な学生のうち、必要な研修を受講し、教育担当の理事が定める試験に合格した者に対し、教育的配慮の下に、学部学生に対する講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う授業の高度な教育補助業務及びこれに付随する教育補助業務を行わせ、大学教育の充実及び将来の大学教育における優れた指導者の養成を図る制度です。

修了の認定・資格

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

グローバル生存学コース

現代の地球社会では、巨大自然災害、突発的人為災害・事故、環境劣化・感染症などの地域環境変動、食料安全保障、といった危険事象や社会不安がますます拡大しています。本コースでは、「グローバル生存学」(Global Survivability Studies, GSS)という新たな学際領域を継承し、地球社会・地域社会における安全安心の担保に寄与できるグローバル人材が身に着けるべき、コミュニケーション力、研究・開発の計画力と推進力、自ら課題を発見する能力などを涵養します。

対象学生 修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程の大学院生

修了要件

以下の必修科目(2単位)およびA、B、C群の選択科目からそれぞれ1科目(2単位)以上を選択し、あわせて8単位を修得すること。なお、必修科目を含め所属研究科以外が提供する科目から2科目(4単位)以上を含むこと。

必修科目:グローバル生存学

A群: コミュニケーション力の涵養を目的とした科目群

B群: 研究・開発の計画力と推進力の涵養を目的とした科目群

C群: 自ら課題発見する能力の涵養を目的とした科目群

科目名	科目提供部局	単位数	開講期	備考
★ グローバル生存学	工学研究科	2	前期	必修
★ 環境防災生存学特論	総合生存学館	2	前期	選択(A群)
★ 社会疫学	医学研究科	2	前期	選択(A群)
★ 健康情報学Ⅰ	医学研究科	2	後期	選択(A群)
★ 知恵すること－情報の視点から生命と社会の本質を考える	総合生存学館	2	後期	選択(A群)
★ 現代規範理論	公共政策大学院	2	前期	選択(A群)
★ ユネスコチェアフィールドワーク:水と森と社会	農学研究科	2	通年集中	選択(A群)
★ 地球生存リスク特論	総合生存学館	2	後期	選択(B群)
★ 情報分析・管理論	情報学研究科	2	前期・後期	選択(B群)
★ 生理化学概論	農学研究科	2	後期集中	選択(B群)
★ 統計的システム論	情報学研究科	2	前期	選択(B群)
★ 情報社会論	情報学研究科	2	前期	選択(B群)
★ 人間の安全保障と地球環境変動特論	農学研究科	2	後期集中	選択(B群)
★ 東南アジア地域論	農学研究科	2	後期集中	選択(C群)
★ 人工知能特論	情報学研究科	2	後期集中	選択(C群)
★ レジリエントな社会づくりのイノベーション・展望と自由提言	医学研究科	2	通年	選択(C群)
★ 宇宙学	理学研究科	2	後期	選択(C群)
★ 国際環境政治学	総合生存学館	2	後期	選択(C群)

★印の付いている科目は院横断科目です。

修了の認定・資格

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

デザイン学コース

現代社会は複合的で複雑な様々な問題に晒されています。特に、複合的かつ複雑な問題解決には、異なる分野の専門家が協働して当たる必要があります。このような協働活動には、特定の分野に特化した専門知識に加え、専門領域を超えて問題を把握するためのデザイン実践と複雑化する問題に本質的にアプローチするための方法論が必要とされます。

本コースは、「デザイン学大学院連携プログラム」で培われた成果を活用し、部局を問わず京都大学大学院生を対象に、これからの時代に必要とされるデザイン学の思考方法論の基本を修得してもらうことで、複合的かつ複雑な社会問題に取り組むことが可能な人材育成を目指すものです。特に、教員のレクチャーだけでなく、京都大学デザインスクールをサポートするデザインイノベーションコンソーシアムや海外の大学と連携した演習等を組み合わせることにより、知識だけでなく、実践的な能力の修得を目指します。さらに本コースは、将来より専門的にデザイン学を学ぶための基礎としても位置付けられます。

対象学生 修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程の大学院生

修了要件

「デザイン学総説(コースガイダンス)」を受講したうえで、■の講義科目から6単位以上修得し、「京都大学サマーデザインスクール」を修了又は、■の演習科目から2単位以上を修得すること。なお、所属部局以外の部局が開講する科目から2単位以上を含むこと。

デザイン学総説(コースガイダンス)

講義科目(6単位以上)

京都大学サマーデザインスクール

又は

演習科目(2単位以上)

科目名	科目提供部局	単位数	開講期	備考
★ デザイン方法論	工学研究科	2	後期集中	講義科目
★ アーティファクトデザイン論	工学研究科	2	後期集中	講義科目
★ インフォメーションデザイン論	情報学研究科	2	前期	講義科目
★ 社会デザイン論	経営管理大学院	2	前期	講義科目
★ 認知デザイン特論	教育学研究科	2	前期	講義科目
★ デザイン思考実践	情報学研究科・経営管理大学院	1	前期集中	演習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)S1	情報学研究科・工学研究科	1	前期集中	演習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)S2	情報学研究科・工学研究科	1	後期集中	演習科目
★ 問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1	工学研究科・教育学研究科	2	前期集中	演習科目
★ 問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L2	工学研究科・教育学研究科	2	後期集中	演習科目

★印の付いている科目は院横断科目です。

※「京都大学サマーデザインスクール」については履修登録後の「デザイン学総説(コースガイダンス)」で案内する。

※「問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)S1・S2・L1・L2」について、情報学研究科及び教育学研究科における対応する科目名は以下のとおりである。

情報学研究科:問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)S1・S2 = 問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)1・2

教育学研究科:問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2 = 教育認知心理学演習A・B

※「問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L1・L2」について、工学研究科のみ院横断で提供している。

修了の認定・資格

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

地球規模の課題に挑む次世代のリーダーを育成する3つの総合知コース

総合知・総合生存学とは

現代社会は、地域紛争、経済危機、人口問題、環境汚染、感染症の拡大など、複雑で多様な課題に直面しています。これらの地球規模の課題を解決するためには、分野の垣根を越えた幅広い「知」を結集し、課題の発見と解決策の探求に活用することが求められます。この「知」の融合と統合的な活用が、私たちの提唱する**総合知**です。

総合生存学は、この総合知の理念を基盤に、「人類の生存」という根本的なテーマを掲げ、自然科学、人文学、社会科学を横断する分野横断型の研究を推進する学問です。さらに、この研究成果を政府、産業界、社会全体と連携させ、実社会での課題解決を目指します。

本コースでは、総合知を実践するためのアプローチや方法論を体系的に学び、**サステナビリティ、ウェルビーイング、フロンティア開発**という具体的なテーマに焦点を当てます。受講者は、自身の研究テーマを新たな視点から再定義し、地球規模の課題に挑む力を養います。このプログラムは、総合生存学を深く探求するための確固たる基盤ともなる学びの場です。

提供する3つのコース

- サステナビリティ総合知コース
- ウェルビーイング総合知コース
- フロンティア開発総合知コース

対象学生 修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程の大学院生

サステナビリティ総合知コース

本コースでは、カーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指し、環境問題に対する総合的な視点と解決力を養います。具体的には、国際情勢や経済、資源問題といった多角的な視野を持ちながら、現在直面する環境課題に取り組む知見を身につけます。また、サステナビリティという複雑な構造を深く理解し、文系・理系の枠を超えた分野横断的な学術研究を推進するための基盤を提供します。このコースを通じて、総合知の基礎力を習得し、未来の環境問題解決に貢献できる広い視野と実践力を身につけることを目指します。

履修要件

総合生存学(サステナビリティ)は必修。人文・社会科学系学生向け科目はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。工学・自然科学系学生向け科目はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系学生向け科目、理系学生は工学・自然科学系学生向け科目の履修を推奨する。

開講科目

(選択科目)

(必修科目) 総合生存学(サステナビリティ) 2単位

人文・社会科学系学生向け科目

A群(合計3科目6単位以上)

a群(2科目4単位以上)

持続可能な発展とエネルギー転換

地球生存リスク特論

文系のための基礎化学

知恵すること—情報の視点から生命と社会の本質を考える

環境防災生存学特論

科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング(文)

持続性移行(学舎)

工学・自然科学系学生向け科目

B群(合計3科目6単位以上)

b群(2科目4単位以上)

国際環境政治学

エネルギー・ファイナンス論

グリーンケミストリー(環境に優しい化学)入門

持続可能な発展とエネルギー転換

SDGs下で求められる経営戦略

質的調査方法論(農)

レジリエントな社会づくりのイノベーション:展望・自由提言(医)

(注)「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系他研究科開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格

必修科目として総合生存学(サステナビリティ)2単位を修得し、指定の選択科目から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。

ウェルビーイング総合知コース

本コースでは、ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)の社会的背景を理解し、実践的な問題解決力を養います。人文・社会科学と自然科学の視点から基礎知見を学び、総合知の方法論や分野横断的な研究手法を習得することで、地球規模の課題に柔軟かつ効果的に対応する力を身につけます。

履修要件

総合生存学(ウェルビーイング)は必修。人文・社会科学系学生向け科目はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。工学・自然科学系学生向け科目はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系学生向け科目、理系学生は工学・自然科学系学生向け科目の履修を推奨する。

開講科目

(選択科目)

(必修科目) 総合生存学(ウェルビーイング) 2単位

人文・社会科学系学生向け科目

A群(合計3科目6単位以上)

a群(2科目4単位以上)

感染症と人類

知恵すること—情報の視点から生命と社会の本質を考える

地球生存リスク特論

アジア文明を横断した仏教史

人間生態学(AA)

人新世の哲学

質的調査方法論(農)

マインドフルネス:東洋と西洋の間

科学技術と社会に関わる
フューチャリカルシンキング(文)

工学・自然科学系学生向け科目

B群(合計3科目6単位以上)

b群(2科目4単位以上)

アジア文明を横断した仏教史

人新世の哲学

マインドフルネス:東洋と西洋の間

感染症と人類

社会疫学(医)

知恵すること

ヘルスサイエンス研究の進め方(医)

地球生存リスク特論

健康情報学Ⅰ(医)

(注)「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系の他研究科開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格

必修科目として総合生存学(ウェルビーイング)2単位を修得し、指定の選択科目から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。

フロンティア開発総合知コース

本コースでは、宇宙開発(月・火星の基地建設や資源探索)と国際開発(途上国支援、平和構築など)をテーマに、課題解決に必要な総合知の基礎力と実践力を養います。受講者は、いずれかの分野に焦点を当てつつ学際的な視点を身につけ、地球規模の課題に対応する幅広い視野と実践力を培います。

履修要件

総合生存学(フロンティア開発)は必修。国際開発系はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。宇宙・地球系はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。

開講科目

(選択科目)

(必修科目) 総合生存学(フロンティア開発) 2単位

国際開発系科目

A群(合計3科目6単位以上)

a群(2科目4単位以上)

開発経済学(政策と制度)

開発政治学

国際開発政策論

水惑星地球

持続性移行(学舎)

宇宙居住学

東南アジア地域論(農)

地球生存リスク特論

デジタルガバメント論(公共)

宇宙・地球系科目

B群(合計3科目6単位以上)

b群(2科目4単位以上)

水惑星地球

宇宙居住学

地球生存リスク特論

開発経済学(政策と制度)

有人宇宙学

開発政治学

宇宙学(理)

国際開発政策論

地球益経済論(学舎)

(注)「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系の他研究科開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格

必修科目として総合生存学(フロンティア開発)2単位を修得し、指定の選択科目(国際開発系または宇宙・地球系)から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。

数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース

数学はその普遍的な性質により、自然科学は勿論のこと、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっています。本コースは、数学・数理科学の様々なテーマに触れることで諸分野における数学の可能性を知る機会を提供し、数学・数理科学を基盤とする分野における幅広い視野を備えた人材の育成や高度な技量を備えた国際人材の育成に重層的に寄与することを目的とします。

対象学生 修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程の大学院生

I 数理人材強化プログラム(展開)

共通要件に加えて、以下を満たすこと。

中核科目「数学・数理科学グローバル講義I,II,III,IV」から1単位以上取得し、かつ、選択科目との合計で7単位以上取得すること。

II 数理人材強化プログラム(国際)

共通要件に加えて、以下のaとbの両方を満たすこと。

a. 中核科目「数学・数理科学グローバル講義I,II,III,IV」から1単位以上取得し、かつ、選択科目との合計で5単位以上取得すること。

b. 理学研究科で開講される、国際ワークショップ、海外研修、セミナー運営実習のうち、二つ以上に参加して修了認定を受けること。

科目名	科目提供部局	単位数	開講期	備考
★ 数学・数理科学グローバル講義I	理学研究科	1	前期集中(偶数年度開講)	中核科目
★ 数学・数理科学グローバル講義II	理学研究科	1	後期集中(偶数年度開講)	中核科目
★ 数学・数理科学グローバル講義III	理学研究科	1	前期集中(奇数年度開講)	中核科目
★ 数学・数理科学グローバル講義IV	理学研究科	1	後期集中(奇数年度開講)	中核科目
★ 数学・数理科学の最前線大学院講義I	理学研究科	2	前期	選択科目
★ 数学・数理科学の最前線大学院講義II	理学研究科	2	後期	選択科目
★ 学術越境基礎I	人間・環境学研究所	2	前期	選択科目
★ 統計科学基礎論	情報学研究所	2	前期	選択科目
★ 情報科学基礎論	情報学研究所	2	前期	選択科目
★ 年金制度設計論大学院講義	理学研究科	2	後期	選択科目
★ 統計的システム論	情報学研究所	2	前期	選択科目
★ 統計的信号処理論	情報学研究所	2	後期	選択科目
★ 金融工学	情報学研究所	1	前期集中	選択科目
★ Statistical Learning Theory	情報学研究所	2	前期	選択科目
★ 数学・数理科学キャリアパス	理学研究科	1	通年集中	選択科目
数学・数理科学における国際ワークショップ	理学研究科	2	通年集中	実習科目(国際)
数学・数理科学における海外研修I	理学研究科	2	前期集中	実習科目(国際)
数学・数理科学における海外研修II	理学研究科	2	後期集中	実習科目(国際)
数学・数理科学におけるセミナー運営実習	理学研究科	2	通年集中	実習科目(国際)

※ I、IIの共通要件として、以下の1,2を満たす必要がある。

★印の付いている科目は院横断・院共通科目です。

1. コースオリエンテーションに参加すること。 2. 所属部局以外の部局が開講するコース科目を少なくとも一つ履修すること。

修了の認定・資格

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

